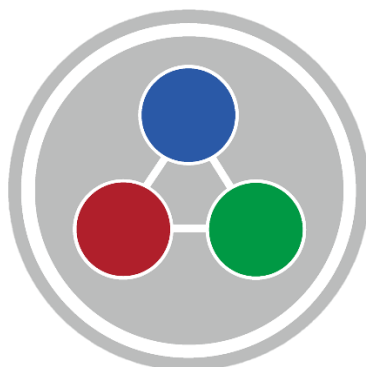


AutoMate 11 リリースノート

【11.7.0】



三和コムテック株式会社



作成日：2022/08/10

更新日：

空白のページです。

内容

1. はじめに 4
2. AutoMate 11.7.0 リリースノート 4

1. はじめに

本書は AutoMate 11 ver.11.7.0 の変更箇所について、リリースノートとして記載しています。

2. AutoMate 11.7.0 リリースノート

【重要】

・バージョン 11.7.0 の時点で、Automate Plus/Ultimate は 64bit インストーラーとしてのみ利用可能です。

【下位互換性の変更】

・変数タイプが "Auto" に設定された数値のみを含む変数は、変数タイプ "Number" と同じに扱われ、変数タイプ "Text" として扱われなくなりました (バージョン 11.0 - 11.6.0 では、変数タイプが "Auto" に設定された数値を含む変数は変数タイプ "Text" と同じに扱われていました)。

この変更は、AutoMate バージョン 10 以前の "Auto" Variable タイプがどのように機能していたかを再調整するものです。この変更により既存のタスクとの互換性の問題が発生する場合、影響を受ける変数の変数タイプ設定を "Auto" から "Text" に変更する必要があります。

【新機能】

- ・ [FTP]アクションの強化
 - Automate Pro・Premium・Desktop・Enterprise・Plus・Ultimate
 - SFTP パイプラインの長さ、ブロック転送、アップロード/ダウンロードのブロックサイズを調整できる機能が追加されました。
 - SFTP 転送の追加操作を抑制する機能が追加されました。
- ・ [JSON オブジェクト]アクションの機能強化
 - Automate Pro・Premium・Desktop・Enterprise・Plus・Ultimate
 - [JSON オブジェクト]に新しいアクションが追加されました (フィールドの追加、フィールドの削除、配列追加、配列削除、配列サイズの取得、値の取得、値の設定、テキスト変換)。
 - [JSON オブジェクト- デコード]過去あった多くの問題を解決しました。
- ・ [OCR] アクションの機能強化
 - Automate Pro・Premium・Desktop・Enterprise・Plus・Ultimate
 - すべての [OCR]アクションにトルコ語への対応が追加されました。

- ・ [Web ブラウザ]アクションの機能強化
 - Microsoft Edge ブラウザの Internet Explorer (IE) モードに対応するようになりました。
 - Chromium ベースの Web ブラウザに拡張機能を読み込む機能が追加されました。
 - [Web ブラウザ - Inject JavaScript]アクションより、Web ページに対して JavaScript を注入(実行)する機能を追加しました。
 - [Web ブラウザ]アクションは Web ドライバを更新するため、より新しい Web ドライバのバージョンがダウンロードできない場合、既存バージョンの Web ドライバを保持するようになりました。

- ・ 認証接続
 - Automate Plus/Ultimate のみ。
 - 資格情報接続機能により、タスクがアクセスできるサードパーティの資格情報ソースへの接続を作成および共有することができます。

※現時点で、本機能は日本ではサポート対象外です。

【機能拡張】

- Windows 11 への対応が追加されました。
- AutoMate Enterprise タスクのパフォーマンスが改善されました。
- AutoMate Enterprise における通信定義へのアクセスは削除されました。
- AutoMate Enterprise プロセスエージェント(Linux 向け)は、Java 11.0 以降をサポートするようになりました。
- ワークフローの中、先行のタスクがエージェントグループで実行された場合、その後続にあるタスク "前"エージェントが期待通りに動作するようになりました。
- [データベース - SQL クエリ]アクションおよび [データベース - ストアドプロシージャ] アクションはデータセット列「DateTime」の値に対して、クエリ結果をミリ秒まで含めるオプションを提供されました。
- [ファイルシステム - 移動]アクションの「ソース」と「保存先」という設定が 260 文字以上の文字列でも対応するようになりました。
- デフォルトタスクエージェントプロパティの[その他]の設定に、エージェントが処理中に切断された場合、タスクを「失敗」と判定するデフォルトの動作を変更する機能を追加しました

【不具合修正】

- ファイルトリガーが手動で OFF にした場合、再度 ON にした場合でも、実行中のタスク一覧を表示するダイアログボックスから手動でタスクを終了した場合でも、ファイルトリガーが動作しなくなる事象を修正されました。
- [OCR] アクションで Tesseract エンジンを使用してもエラーが表示されなくなりました。
- [テキスト-置換]アクションは「置換」の設定は正規表現を使用できるようになりました。

- [Web ブラウザ-開く]アクションで URL の始まりに「view-source:」を指定しても問題なくなりました。
- [Web ブラウザ-リストアイテムの選択] および [Web ブラウザ-メニューアイテムの選択] アクションでセッション名に変数の値と指定していても、エラーを表示しなくなりました。
- [Web ブラウザ]アクションが更新され、Web ページの HTML 要素のクリックと抽出のパフォーマンスが改善されました。
- [IF - テキスト]アクションで "%Q" エスケープシーケンスが使用されても、失敗してエラーが表示されなくなりました。
- OAuth 2.0 認証を使用しているときに HTTP アクションが LinkedIn への接続に失敗することはなくなりました。
- [FTP -ログオン] アクションで秘密鍵ファイルを使用して FTP サーバーに接続しようとしたときにエラーが表示されることはなくなりました。
- ファイルパスにワイルドカードが含まれている場合、FTP ログファイルにアップロードされたすべてのファイル名がリストに含まれるようになりました。
- 「通信タイプ」が「SFTP」で「認証タイプ」が「Auto」または特定の認証タイプを使用しているときに、[FTP]アクションが接続に失敗することはなくなりました。
- [タスク-停止] アクションに数値が含まれている場合、OnTaskFailure イベントが実行されるようになりました。
- [タスク- サブタスクの開始] アクションはサブタスクが失敗した場合、On Error のステップ通過しても実行は継続するようになりました。
- [HTTP]アクションで「認証タイプ」の設定で使用されている [HTTP]アクションごとに利用可能なすべての認証タイプが表示されるようになりました。
- PowerShell 2.0 またはそれ以降のバージョンがインストールされている場合、[PowerShell]アクションはエラーメッセージが表示しなくなりました。
- [入力-キーストロークの送信]アクションのヘルプページが更新され、大文字と小文字の区別についてより詳細に説明されるようになりました。
- [PDF- フィールドの設定]アクションの AcroForm 設定から Expression Builder にアクセスできるようになりました。
- 「RowsAffected」という データセットの列は SQL クエリを使用する際に値が入力されるようになりました。
- [Web ブラウザ - セッション]を含むワークフロー(のタスク)は、[Web ブラウザ -閉じる] アクションがそのタスクに含まれていない限り、開いた Web ブラウザウィンドウを自動的に閉じなくなりました。
- [PDF - 添付ファイルの取得]アクションは、AutoMate 10 から AutoMate Desktop 11 にバージョンアップすると、[保存先]パラメータに入力された値が保持されるようになりました。

- レコーダーで、一部のコントロールに緑色の選択枠が正しく表示されるようになりました。
- インポートユーティリティを使用して AutoMate version 9 から AutoMate version 11 にインポートしたバックアップとタスクは、インポート プロセス中に失敗しなくなりました。
- [OCR]アクションが Tesseract をエンジンとして使用するよう設定され、Advanced Vector Extensions (AVX) がコンピュータのプロセッサによってサポートされていない場合、Task Builder がクラッシュしなくなりました。
- タイムアウト設定が 10 時間または 1 日を超えるタスクは、実行時にエラーが表示しなくなりました。
- Extended 関数 ExtractFilePath()で、パスの先頭にドライブ文字が挿入されなくなりました。
- [Web ブラウザ - 値の設定]アクションを使用して Web ページに入力されたテキストが、Selenium ベースの Web ブラウザで適切に認識されるようになりました。
- [PDF - 添付ファイルを取得]アクションは、添付ファイルを正しく認識するようになりました。
- Extended 関数 IncrementFileName()にて、テキストの後に空白が挿入されなくなりました。
- 管理コンソール(SMC)のカレンダーは、地域と言語の設定に関係なく、将来のワークフローとタスクを表示するようになりました。
- [ファイルシステム - 情報を取得]アクションは、OK ボタンがクリックされたときに正しくパラメータを検証するようになりました。
- [XML - ノードを読み込む]アクションで、リソースがセッションに設定されているときにタスク ビルダ ビジュアル モードに「既存の XML ファイルを使用」と表示されなくなりました。
- [PDF - フィールドの設定]アクションで、日付と時刻のフィールドに誤った PDF 値を設定しなくなりました。
- [Web ブラウザ - クリック]アクションで、Web ページ ボタンが適切に検出されクリックされるようになりました。
- [Web ブラウザ]アクションにて Web ページ上の複数の項目が適切にハイライト表示され、選択されるようになりました。



お問い合わせはこちらまでご連絡ください。

Email : automate@sct.co.jp